

立候補推薦文

公益社団法人半田青年会議所
理 事 長 今 野 直 紀

愛する地域の未来のために、真の心で地域と向き合おう。希望溢れる持続可能な地域の創造のために。加藤大将君は「TRUE MIND」をスローガンに掲げ、公益社団法人半田青年会議所 2020 年度理事長として地域に多くの運動を展開されました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった困難な年度にあっても、地域課題と真摯に向き合い、運動を止めることなく LOM を力強く牽引された姿は、今も私の心に深く刻まれています。

2013 年の入会以降、LOM や地域での活躍にとどまらず、国際青年会議所においては、2015-2016APDC 開発担当役員、2020-2021APDC カウンシラーとして世界を舞台に活躍。また、日本青年会議所においても、2019 年に国際ビジネス連携委員会委員長として SMILE by WATER 事業を通じ、世界各国の NOM と連携した運動を展開されました。2022 年には総務グループ担当常任理事として組織の基盤を支えられ、2023 年には日本青年会議所副会頭として国家グループを牽引し、日本青年会議所の運動に大きく寄与されました。今年度は会頭外口真大君のもと、専務理事として全体に目を配り、組織を力強く支えております。

私は入会以来、加藤大将君と共に活動する中で、心から尊敬してやまない点があります。それは、日本青年会議所や国際青年会議所への数々の出向を経験しながらも、常に地域と LOM への想いを忘れず、時には率先してリーダーシップを発揮される姿勢です。本人は恥ずかしがるかもしれませんが、「LOM あってこそその出向であり、LOM の未来のために出向している。」と常に語っています。現在までの出向経歴は、決して穏やかな道ではありませんでした。辛い事や悔しい思いも沢山経験したのだと、近くで見ていて感じることもありました。それでも LOM ではいつも明るく振舞い、その姿を見た LOM メンバーに勇気を与えたことも、紛れもない事実です。私自身、今年度理事長を拝命するにあたり、組織の未来を託される重責に迷い、リーダー像に悩むことがありました。その際、加藤大将君から多くの助言をいただき、揺るがぬ継続力、的確な判断力、冷静な交渉力、そして誰に対しても誠実であるという普遍の人間力を学びました。その姿勢は、努力を惜しまぬ真摯さと、人としての魅力に裏打ちされたものであり、今もなお私は、そのリーダーとしての在り方を学び続けております。

私は加藤大将君が、世界のリーディング NOM である日本青年会議所を、更には、全国のメンバーを力強く牽引してくれると確信しています。日本の未来のため、そして青年会議所の未来のために、公益社団法人半田青年会議所の総意をもって最大限の支援をすることを全国のメンバーの皆様にお誓い申し上げると共に、加藤大将君を輩出する LOM の理事長として、公益社団法人日本青年会議所 2026 年度会頭候補者として決意をもって推薦いたします。